



私が現場で仕事をするときに心がけていることがあります。それは、どんな時でも笑顔で接するということです。

当たり前じゃないかと思うのですが、やはり人間なので感情のコントロールが難しくなることもあると思います。どんなに忙しい時でも、少し機嫌が悪くても一呼吸おいて笑顔で対応すると相手も自然と笑顔になつてもらえると思います。



仕事以外でも、初めて会う方によく「すごい笑顔が素敵ですね」と言っていたことがあります。「こつちもなんか気持ちがいいよ」と言ってくれた時は、私も恥ずかしい気持ちもありますが、これが私のいいところなのかな?と思うようになりました。



入居者様からもよく、「ニコニコしてるけど、なんかいいことあったん?あんた見よったら気持ちがいいわ」と言ってくれます。これからも施設を明るくできるように、笑顔でいることを心がけて仕事をしたいと思っています。

デイサービス利用されている、ゆうゆう鹿角へ入居中の吉村様にお話しを伺いました。週に5回デイサービスに来られていて、その時には必ず運動を一生懸命にされています。最近足腰が弱ってきたのか段差昇降や立ち上がりになるとすくばててしまわれます。でも看護師さんに「吉村さん頑張つて!」「背筋を伸ばしてもっと姿勢よく!」と声をかけられると、背筋を伸ばしながら頑張つています。



写真のエアロバイクも頑張つてやつておられますが、いつもヒーヒー言いながらペダルをこいでいます。

また、週に2回は3人で麻雀をしながらかつを鍛えています。「ボン!」「リーチ!」「トイトイ!」「ロン!」等を言いながらお仲間と和気あいあいと過ごされています。

「これからも、ここに来ながらほかの人や仲の良い職員と話せるのを楽しみにしています」と笑顔で話されました。( ) /



近所のカフェでの出来事です。その日は仕事で少し疲れ、気分転換にお気に入りのカフェへ行きました。注文を済ませて席に着き、ぼんやりと窓の外を眺めていると、小さな子どもとお母さんが店員さんに話しかけていました。どうやら子どもはレジ横のクッキーが欲しかったようですが、お母さんは「今日は買わないよ」とやさしく論じていました。すると、それを聞いていた店員さんが、「よかつたら、お試しでどうぞ」と、小さなクッキーをそつと子どもに手渡したのです。子どもは目を輝かせ、「ありがとう!」と満面の笑みでお礼を言いました。その姿を見たお母さんも微笑み、店員さんも嬉しそうでした。



その一瞬、カフェの空気がふんわりと温かくなったように感じました。

日々の忙しさの中で、こんな何気ない優しさが心をほつとさせてくれることに改めて気づき、小さな幸せを大切にしたいと思いました。



この投稿は、最近ハマっているChatGPTで作成しました。なにがフェイクでなにがリアルなのか、きちんと自分自身で判断できる情報リテラシーを養うことが重要になってくると、つくづく実感する毎日です。でも、この記事は分かりませんねww

二月二日、「ゆうゆう針田」で節分の豆まきを行いました。施設の職員が赤鬼と青鬼に扮して登場すると、利用者の皆様から「鬼が来たぞ!」と大きな声が上がりました。手には用意された豆に見立てた新聞紙を丸めたものが握られ、「鬼は外! 福は内!」と元気いっぱいに投げ、鬼を退治しました。



鬼たちは逃げ回りながらも、利用者様の近くに迫つてみせるなど、会場は笑顔と歓声に包まれ、大盛り上がり。



豆まきが終わると、「これで一年、元気に過ごせるね」と喜ぶ声も聞かれました。

最後に、みんなで豆を食べ、一年の無病息災を願いました。賑やかで温かい雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごすことができました。

先日開催した「お鍋」「たこ焼き」「お好み焼き」「焼き餃子」大会は、大盛況でした。いつもの給食では味わえないアツアツの料理を目の前で調理し、できたてを召し上がっていただき、「美味しい!本当に美味しいね!」と笑顔が広がりました。



施設での毎日の食事はどうしても栄養価を中心に決まったメニューの繰り返しになりがちですが、こうした特別なイベントを通じて、食事の時間がより楽しみなひとときになればと思っています。目の前で焼かれるお好み焼きにワクワクし、たこ焼きをひっくり返す様子に歓声が上がると、温かな雰囲気にも包まれていました。



これからも、皆さまに喜んでいただけるよう、心を込めた手作りの料理を定期的にお届けしたいと思っています。次回はどんなメニューが登場するのか、どうぞお楽しみに!

二月は寒波の影響で、南予だけでなく当地でも高速道路の閉鎖など雪による移動の困難な日が多かった印象です。寒い日が続いて春めく気配は感じられませんが、足元にホトケノザが咲き始めていて季節は確かに春に向けて変わっています。あると感じられました。

さて、ゆうゆう新聞では紙面スペースの関係で投稿いただいた記事も掲載できないこともありますが、できるだけFacebookなどのwebへの掲載を今後アクティブにしていければと思います。その場合、職員の方が直接投稿いただくと臨場感がありますが、利用者様の顔や名前など公開できない情報が出るこのリスクも高くなりますのでチェックは必須です。会社名を冠した公報においては、基本的なチェックとして「投稿者」↓「所属長の確認と許可」↓「広報担当」の流れを守って頂ますようお願いいたします。また、個人のSNS等で会社や施設に関する投稿を、会社の許可なくすることは、コンプライアンス違反になったり、損害賠償等の法的な処罰を受ける場合もあります。



発行 株式会社悠遊社  
編集 広報担当  
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二、二四、三十八  
電話 〇八九九六五、一九九〇  
連絡先 koho@yuyusya.co.jp  
配布 毎月一日(基準日)